

チタンジュエリーに取り組むドイツ人作家

“Uli Glaser” が創り出すシャープでスタンダードなデザイン



北ハンブルグ在住のデザイナー、Uli Glaser (ウリ・グラザー)氏はチタンを使ったシャープでスタンダードなデザインのジュエリーで注目を集めているアーティストである。

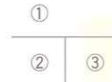
金細工のマイスターでもあるグラザー氏は、1987年に北ドイツ・ハンブルグ市にアトリエ“Uli Glaser Design (ウリ グラザー デザイン)”を設立し、その後1990年に日本真珠振興会のインターナショナル・パール・デザインコンテストを受賞するなど、国内外に着実に愛好者を増やしていった。

グラザー氏がチタンジュエリーの制作をスタートしたのは1993年。グラザー氏はその卓越した加工技術を生かして、シルクのように滑らかなラインのチタンジュエリーを世に送り出し、ほどなくドイツ国内だけではなく、オーストリア、スイスなどにも広く知られるようになった。

また90年代後半からはイギリス、アメリカへ進出。日本でも1月に行われたIJT2005でチタン製ダイヤモンドリングが注目されるなど、よりワールドワイドな活動を展開している。

グラザー氏は、ドイツの伝統的な埋め込み技術を利用して、純チタンやチタン合金(金・銀・プラチナ)を使った様々なアイテムを制作しているが、特に人気が高いのがダイヤモンドを使ったリング、バングルなどのブライダルジュエリーだ。

変質しづらいチタンと永遠に輝くダイヤモンド、そしてグラザー氏自身の「結婚指輪は生涯にわたって飽きが来ず、どんな時も人生の道連れと感ずるようになって初めて完成したといえるのだ」という言葉どおり、時代や流行に影響されないスタンダードで洗練されたデザイン。永遠の愛を誓う二人にぴったりのブライダルジュエリーである。



- ①クールなフォルム。大人の男性向きのメンズジュエリー
- ②シンプルに素材の美しさを引き出したリングコレクション
- ③細かなところにセンスのよさが光るクロスネックレス&ペアリング